

学校導入事例

ナルオカ式英語



事例1

補習授業の教材として活用 興國高等学校（大阪府大阪市）



授業内容： 放課後、生徒たちが自主参加する多彩な補習授業の1コースとして利用。

利用形態： 一人につき1台のパソコンを使って学習。各生徒が自分の学力、進度に合わせてトレーニングを選択。

授業風景： 演習を行っている生徒たちに先生が後ろから適宜アドバイス。ステップ式の学習プログラムを利用していますので、「できる」生徒はどんどん先に進んでいきます。成績・学習履歴はサーバに蓄積されますので先生はいつでも各生徒の学習進捗を確認できます。

使用教材： 「ナルオカ式英語 入門編」
「ナルオカ式英語 英語基礎定着編」
「ナルオカ式英語 キー入力練習編」



担当先生インタビュー 興國高等学校英語科：澤井良典先生

Q：「ナルオカ式英語」を採用した背景について教えてください。

澤井先生： 興國高校では、放課後の取り組みとして、各教員が自らの趣向に基づいて「KOKOKU寺子屋」なるものを開いています。その数は5つの道場で全22コースに及び、多くの生徒諸君が自主的に参加しております。また、これは他の学校についても同様の話をよく耳にするのですが、近年、中学過程の学習が不十分な状態で入学する生徒が増加傾向にあり、高校過程の授業がスムーズに行えない場合があります。そこで「KOKOKU寺子屋」の1コースとして**中学の内容を復習するコース**を設けることはできないか、またそれに適した教材はないかと探しておりましたところ、成岡先生からご紹介いただいた「ナルオカ式英語」にめぐり合ったのです。

Q：PCを利用した英語教材は数多くありますが、その中で「ナルオカ式英語」を採用した決め手はなんでしょうか。

澤井先生： 特に中学過程の内容については、私どもが指導をして知識をつけさせることはできるのですが、学力を定着させるためにはどうしても生徒自身による**反復学習**が必要であり、この部分に非常に苦勞しておりました。「ナルオカ式英語」を初めて見たときに、これはその**生徒自身による反復学習**というテーマで作られている教材ではないかと感じ、ためしに一部の生徒にやらせてみたところ、普段勉強というだけで気が乗らないような態度を見せる**生徒が自分からすすんで何度もやりたがる**のを見てこれに間違いないと確信しました。

Q：「ナルオカ式英語」を利用した生徒の皆さんの反応はいかがでしたでしょうか。

澤井先生： 英語の学習に出遅れてしまった生徒諸君や、もう一度基礎からやり直そうという生徒たちが、この寺子屋にやってきて、週3回コンピューターに向かっていきます。コンピューター相手ですので、自分の時間とやる気に合わせて本当に自分のペースで取り組むことができます。生徒たちは**一日おきの講座を待ち遠しく楽しみにしている**くらいです。また友達と競争しながらやっている者もいて、どんどん進んでいます。

Q: 「ナルオカ式英語」を利用して学習効果はありましたか。

澤井先生：まず生徒の気持ちに変化が芽生えたように見えます。これまでは学習に出遅れてしまった生徒は「自分には無理だ」というような態度を見せることが多かったのですが、例えば「動詞活用」の演習を徹底的にすると、その部分だけはかなり完璧にできるようになります。それもコンピューターの力を借りたとはいえ、**自身が学習することのできるようになったという達成感**を感じるのでしょうか、とても**表情が明る**くなります。それで**一つのことで自信を持つ**ことで他の項目についても**やる気をもって学習にのぞむ**ようになりました。

また、これまでは正規の授業中に、例えば疑問文の構文が曖昧であったり動詞の活用がよくわかっていなかったりする生徒がいるためにそういった部分の説明に時間を割かねばならないことが多かったのですが、「ナルオカ式英語」を利用するようになってからはそういう状況が激減し、**授業がスムーズに進む**ようになりました。これは直接「ナルオカ式英語」に挑戦している子達以外の生徒にもいい影響を与える結果となりましたね。



事例2 正規授業の教材として活用 宣真高等学校 (大阪府池田市)

授業内容： 週に1回、英語正課授業の中でパソコンを利用した指導を実施。

使用教材： 「ナルオカ式英語 入門編」
「ナルオカ式英語 英語基礎定着編」
「ナルオカ式英語 キー入力練習編」

利用形態： 各生徒がそれぞれパソコンを使って学習。
各生徒が自分の進度に合わせてトレーニングを選択。

授業風景： 英語科の先生2人と情報科の教員1人が、授業中に演習を行っている生徒たちを見て回り、トレーニングや操作について適宜アドバイス。
ステップ式の学習プログラムにしたがって生徒がそれぞれのペースで学習を行います。



事例3 入学前の予備学習教材として活用 関西大倉中学校 (大阪府茨木市)

授業内容： 入学予定者に家庭学習教材として推奨。

使用教材： 「ナルオカ式英語 英検5級トレーニング編」
「ナルオカ式英語 英検模擬問題」
「ナルオカ式英語 英語基礎定着編」
「ナルオカ式英語 キー入力練習編」

利用形態： 入試合格発表後、入学予定者にIDを配布。
中学入学前に英語の予備学習を行ってもらうとともに、既に英語を始めている子にもレベルに応じた学習を進められるよう、**家庭での学習**を学校から推奨。



お申込・お問合せは... 株式会社ネットシステムズ TEL:03-5220-3933 担当:成岡